

平成14年8月27日



平成14年7月 マンスリー レポート

集計企業数 40 社

売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	23,476,029 万円	100.0%	103.0%(106.9%)	22,325,697 万円	99.2%(103.0%)
食 料 品	17,545,286 万円	74.7%(75.4%)	105.2%(109.0%)	16,595,221 万円	100.7%(104.1%)
農 産	2,522,098 万円	10.7%(11.6%)	107.9%(111.7%)	2,384,737 万円	103.3%(106.7%)
水 産	2,182,755 万円	9.3%(9.2%)	105.9%(105.9%)	2,062,863 万円	101.3%(101.1%)
畜 産	1,944,315 万円	8.3%(8.5%)	103.0%(105.0%)	1,837,014 万円	98.6%(100.2%)
惣 菜	1,698,638 万円	7.2%(7.1%)	105.9%(109.7%)	1,606,626 万円	101.1%(104.6%)
日配食品	4,011,306 万円	17.0%(17.2%)	105.2%(110.0%)	3,777,896 万円	100.5%(104.5%)
加工食品	5,100,767 万円	22.1%(21.8%)	104.3%(109.7%)	4,926,085 万円	100.2%(105.2%)
生活関連	2,385,956 万円	10.2%(10.1%)	95.8%(100.0%)	2,304,342 万円	93.8%(98.5%)
衣 料 品	1,849,943 万円	7.9%(8.0%)	100.2%(100.2%)	1,803,403 万円	92.6%(100.6%)
そ の 他	1,694,844 万円	7.2%(6.4%)	103.2%(103.3%)	1,622,731 万円	99.8%(100.8%)

数 値

全店総売上高	23,476,029.0 万円	店 舗 数	1,771 店舗
総売場面積	3,698,530.1 m ²	総従業員数	110,648 人

店舗平均月商	13,255.8 万円	平均客単価	2,007.3 円
月間m ² 売上(前月)	6.3 万円(6.1 万円)	平均店舗面積	2,088.4 m ²
月間坪売上(前月)	21.0 万円(20.2 万円)	パート比率(前月)	72.7%(72.5%)

注) 総従業員数...パート・アルバイト数は、8時間換算しています

全体概況

昨年より日曜日が1日減。2度台風が上陸したことも売上苦戦の要因となった

梅雨入り後、長雨と低温が続く夏物商材の動きが悪かった。梅雨明け後、異常な暑さが続いたため、今度は昼間の客数が減り売上に大きく影響。前半の不振を後半でカバーしきれなかった

天候不順により、売場の変化対応の早さが売上を左右した

前年より季節の進行が早いせいも、秋物商材（梨・ぶどう・秋物衣料など）が前倒しで動き始めている

相次ぐ食品の不祥事により、安心・安全への要望が一層強くなっている。各カテゴリーとも中国産など輸入品の売上は鈍く、国産に人気が集まった

商品動向

農産

農産では長雨の影響から、野菜、果物ともに値上がりしたが、果物中心に動向は良かった

梅雨明け後、猛暑の影響もあり「デラウェア」「桃」「西瓜」が好調にスタート。しかし「西瓜」は玉売りからカット売りへのシフトにより単価が下落。トータルでは昨年並みとなった

夏バテ防止、スタミナ食として「ゴーヤ」の売上が好調

水産

水産では前半、台風の影響などで欠品、品薄、相場不安定などから売上苦戦

「生サンマ」の入荷が例年より早く、販売する。値ごろのためか、小サイズが売れた

畜産

畜産では、E型肝炎と豚についての報道の影響から、消費の減少が心配された。しかし概ね好調に推移

惣菜

惣菜は、全体的に売上好調。急に暑くなり、簡便ニーズが増えたことも影響
「うなぎ重」を中心に丼物が好調に推移

日配・加工食品

日配食品では、「牛乳」「ヨーグルト」は、依然として好調を維持している
天候・気温により、「豆腐」「ところてん」などが良く売れた
長雨・低温のため、「菓子パン」「和菓子」が好調に推移している
加工食品では、前半の低温の影響から「そうめん」「アイス」「飲料」などの夏物商材が不調

住居関連用品・衣料品

住居関連用品では、長雨の影響で「花火」「行楽用品」の動向が悪かった
「千と千尋の神隠し」のビデオ・DVD売上が非常に好調。雨が多かったこと、夏休みが重なったことも関係していると思われる
衣料品では、台風による長雨と低温により、夏物衣料（特に紳士）の売上が不調

その他

～「無認可添加物」「残留農薬」「表示違反」などによる商品撤去の影響
無認可添加物の対象メーカー、商品が多数出たために商品入れ替えによるチャンスロスが売上に影響した。菓子部門で2割ダウンした店舗もあった
残留農薬によるイメージダウンにより、中国産が敬遠されている
お客様が、原料原産地の表示に注意して購入している。表示に対する問い合わせや不信が寄せられているところもあるが、思ったよりも問い合わせは来ていない

～「土用の丑の日」の動向

土曜日だったこともあり、トータルでは昨年を上回ったところが多い

美味に加え、安心・安全に人気が集まる。国産品への比重が年々強くなっている

中国産うなぎについては、その安全性を問題視する声が聞かれた

～「お中元（サマー）ギフト」

ハムギフトはやはり動向が悪い。贈り物なので敬遠されるようだ

単価は下落傾向で、2000円台の商品が良く売れている

ギフトにおいても、産直品や健康食品などの需要が急増している

持ち帰りの減少。カタログギフトの需要が拡大傾向である